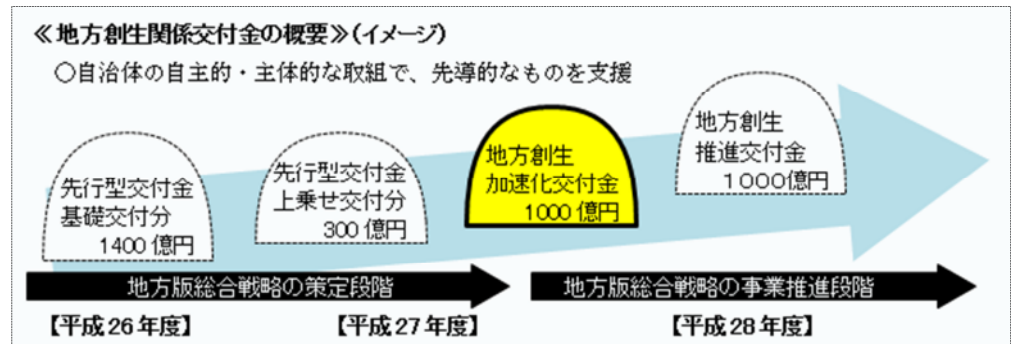


## 地方創生加速化交付金の申請結果について

### 1. 地方創生加速化交付金とは

地方創生加速化交付金は、一億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として、「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また、「子育て支援」や「安心につながる社会保障」も含め「新・三本の矢」の取組に貢献するため、国から交付されるもので、各自治体から申請がなされ、国の選考後、今年3月に交付決定されました。



### 2. 交付決定された事業概要

①事業名 「ほっつけ・ヤマ・農まち全面展開 ～ほっとする空間創出に向けた『歩』～

②交付決定額 6千100万円 ※63自治体のうち採択されたのは31自治体

#### ③事業内容

##### ■はじめの一步 ～ほっつけ一点突破プロジェクト～

- ・江戸時代から続く沼地を掘り上げて作った田んぼ「ほっつけ」を、民間企業、行政、NPO等と連携して再生。
- ・先人の知恵を今に伝える「ほっつけ稲作体験」を、町内、近隣市町の子どもたち及び都内の子どもたちに向けて、民間企業、NPO等と連携して実施。農業体験の中から小さな宮代ファンを増やしていくとともに、ほっつけ再生の担い手発掘をめざす。
- ・ほっつけをきっかけとしたイベント（収穫祭）、特産品開発（ほっつけブランド）などを産学官で連携し研究を進める。

##### ■はじめの二歩 ～ホテルが住まう水辺整備～

- ・ホテルの自生を目指して、新しい村の水辺の再生を行うとともに、隣接する埼玉トラスト保全地である「山崎山」での里山体験や保全活動を実施。町内だけでなく広く宮代ファンを募り、宮代の原風景を守る。（自然観察会、ほたる観賞会、ツリークライミングなど）

##### ■はじめの三歩 ～ほっとする農空間「新しい村」から農のあるまちづくりの全面展開～

- ・新しい村を拠点に「地産地消」「6次化製品開発」の推進、PRイベントを実施。
- ・地元農業者、商業者のほか、町内外から起業希望者等を募って「月いちマーケット（定期市）」を開催。合わせて特設ホームページを作って全国的に取り組みをPR。特産品の販路拡大や起業促進、交流人口増につなげる。
- ・活動の様子や「新しい村」を中心とした四季折々の宮代原風景を記録し、「(仮) みやしろ原風景フォト」や情報誌「(仮) まるごとみやしろ」等を作成し、町内外、そして後世に町の魅力を伝え、交流人口、定住人口の増につなげる。